



【発行】林野庁 東北森林管理局

住所：青森県西津軽郡鰺ヶ沢町大字舞戸町字東阿部野 70-82

津軽白神森林生態系保全センター

TEL：0173(72)2931

第37回白神山地ビジターセンターふれあいデー 親子木工教室

10月11日（土）～10月12日（日）に白神山地ビジターセンター主催の第37回白神山地ビジターセンターふれあいデーが西目屋村で開催されました。7月に続き、今年度2回目のふれあいデーは、しらかみクイズラリーや木登り体験などのほか、白神の森を守れ！プロレスリングスペシャルマッチやミズナラの森フェスタでのライブなど、たくさんのイベントが行われ、津軽白神森林生態系保全センターでは職員3名で親子木工教室を実施しました。

実施内容は当センターが用意した青森県産スギを利用した「プランター&イス」自在キットを用いてプランターか子供用イスのどちらか好きな方を親子で作成するもので、1日目は11組、2日目は8組の参加者に実施しました。

参加者の中には、釘を打つための印付けに苦労したり、つまらなそうにしている子供もいましたが、金づちで釘を打ち始めると、楽しそうに一生懸命に、お父さんやお母さん達と一緒に約40分～1時間ほどかけて作っていました。作り終えた後は、笑顔で完成品を持って写真を撮るなど、みなさん満足された様子でした。

当日参加された方のアンケートには、「普段、中々、体験できないので、親子で一緒に製作できて楽しかったです。出来上がったプランターに花を植えるのが楽しみです。」「とても楽しく親子で、良い作品を作ることができました。木工品は一生ものなので、長く大切に使用していきたいと思います。」「とても貴重な体験をさせていただきました。木工教室が初めての参加で、作る楽しさを知りました。また、参加したいです。親子で楽しめて良かったで



センター職員が作り方を説明



金づちで釘をトントントン



完成！！

す。」「きょうは、かなづちでくぎをうつのが、むずかしかったです。あと、じょうずにできたのでうれしかったです。」など、たくさん感想をいただきました。

来年度も木材や森林に関心を持ってもらえるよう親子木工教室を実施していきたいと思っています。

令和 7 年度第 2 回自然再生活動を実施

10 月 25 日（土）に第 2 回自然再生活動を開催しました。この活動は白神山地周辺のスギ人工林の広葉樹林化を目的に平成 22 年から実施しているもので、今年度 2 回目の開催になります。

今回は、五所川原農林高等学校の生徒さんや初めての方、第 1 回にも参加された方など、計 14 名が参加されました。当日は悪天候が心配されていましたが、お天気にも恵まれ最高の活動日和になりました。

午前中は暗門溪谷近くの国有林で植樹体験を行いました。植樹方法はカミネッコンという段ボール製の植樹ポットに稚樹を植えるやり方で、直接地面に植樹するよりも定着率が良く、紙製のため時間の経過とともに土に還るという自然にも優しい方法です。始めにこのカミネッコンを組み立てる作業をしてもらいましたが、これに皆さん大苦戦。途中でダンボールがほどけたり、ひっくり返ったりして思うようにいきません。しかし、スタッフの手を借りながら参加者同士で協力し合うことで無事完成することができました。その後、現地に移動しスコップでブナやカツラなど広葉樹の稚樹の採取を行いました。こちらは体力のいる作業でしたが皆さん一生懸命やってくれました。最後に自分が作ったカミネッコンに稚樹を植え作業は完了となりました。来年、皆さんが植えた稚樹が大きく成長していることを祈っています。

午後からは、世界遺産の径ブナ林散策道で散策を行いました。ちょうど紅葉が色づき始めており葉っぱの緑色や赤色、黄色などの美しいコントラストに皆さん歓声を上げていました。また、スタッフからブナ林や植物の説明があると感心した様子で聞いていました。

この活動を通して白神山地の自然に触れ、その大切さと美しさを実感する機会になったのであれば幸いです。



カミネッコン作成中



元気に育て～



みんなで記念撮影